日本産倍脚類の新科

高　桑　良　興

A new family of nematophorous diplopod to the fauna of Japan

Yosioki　Takakuwa

ホラケヤスデ科（新稱）SPEOPHILOSOMATIDAE n. fam.

科の標徴　胴部は26より成り，全體白色，眼は兩側に8箇宛ある。唇基節は1片で分岐してをらぬ。第1及び第2對肢は殆ど變化しない。第7節の兩對肢が生殖肢に變化してゐる。前生殖肢は唯1節から成り，長く突出する。後生殖肢の基節は甚だ大きい。兩生殖肢共に鞭狀毛を持たぬ。第6胴節の第2對肢が副生殖肢に變化し，やゝS字形を成せる長い絲狀物の大なる束を着けてゐる。第8節の第1對肢の基節の前方に大なる突起を有する。此の科は目下の所次の1屬を含むだけである。

ホラケヤスデ屬（新稱）Speophilosoma n. g.

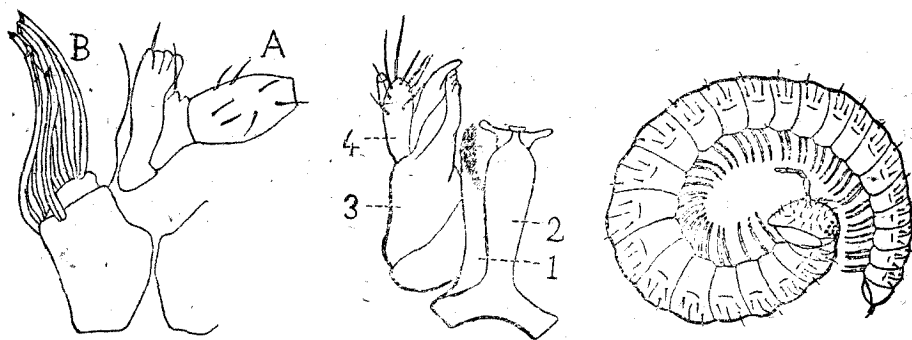
標徴は科の標徴と一致する。此の屬は目下の所 genotype たる次の1種を含むだけである。

ホラケヤスデ（新稱）Speophilosoma montanus* n. sp.

（第1, 2, 3圖）

標徴　體長4 mm, 體幅0.4 mm, 胴は26箇の節より成り，全體白色。觸角の節の長さの割合は1:2:3:4:5:6:7＝2:5:6:4:3:8 で第8は非常に小さい。眼は黑く，各側に8箇宛ある。上唇緣の齒は3。唇基節は1片で分岐してをらぬ。

* 本種は富士山麓の熔岩洞で得られたから此の種名を選んだ。和名は洞窟棲で且つ各體節に3對の剛毛を有するのに因む。

前底節は不明，皮膜様。軸節は見えぬ。兩舌葉は内側で殆ど全部相接し，蝶鉸節は甚だ長く，その狹い基端は唇基節の後緣を越えて伸出する。背部は平滑で光澤を有し，各後環節は3對の大剛毛を有し，側庇は發達せず，たゞ丸い隆起を有するのみである。臭孔は無い。肛門節には1對の紡績突起を有する。步肢は細く長く，第1及び第2小肢はその次に位するものよりも尙細いが，正常の形態で變形しない。雄の第2對肢の基節は多少突出し，第1及び第2對肢の跗節の裏には太い毛の密な列がある。第8節の第1對肢の兩基節は相寄合ひ，各々大いなる瓣片樣の突出物を有するが，その第2對肢では僅かに突出し，第9節の第1對肢には殆どそれが見られぬ。第6節の第2對肢は副生殖肢に變化し，2箇の節から成り，その第1節は大きく，第2節はそれよりも甚だ小さく，甚だ特異なのは，その端に約15本の甚だ長い，太い管狀のS字形をなせる絲狀體の束を持つてゐることである。第7節の前後兩對肢は生殖肢となり，通常步肢の型とは

第1圖　ホラケヤスデ　(原圖)
左圖　Aは第8胴節の第1對肢基節と端肢（左半）　Bは第6胴節の第2對肢（右半）腹面
中圖　前後生殖肢　1前生殖肢　2同上胸板突起　3後生殖肢基節　4同上端肢
右圖　側面全形

大いに變化してゐる。前生殖肢は1節から成り，細く長くやゝS字狀に伸び，その端の方では內緣に沿つて短い太い毛の密なる叢が續いてゐる。精溝は見られ

ない。胸板はへの字形を成し，その中央に1箇の甚だ長い太きな眞直の突起を抽出し，この突起は前方稍々太く，その端は甚だ大なる，及び甚だ小なる2つの丁字狀形を成してゐる。後生殖肢は基節と端肢とから成り，基節は廣く大なる，端の狹窄せる突起を有し，端は多少內方へ彎曲し爪狀となつてゐる。端肢は相當に大きいが基節に比しては甚だ小さく，棍棒狀を成し，基節の外側の中程に着き，端には少數の長い刺毛を有する。端肢の側方に2節から成る小節が位置するがその第2の節は甚だ小さい。之等は端肢の第2,第3節を現すものと解すべきである。

產地 模式產地は富士山麓の熔岩洞（山梨縣）である。今の所他地から發見されてをらぬ。筆者採集。*

備考 本科は倍脚綱中，唇顎亞綱 Chilognatha 前雄類 Proterandria 單顎上目 Colobognatha ツムヤスデ目 Nematophora ツムヤスデ亞目 Chordeumoidea ホソヒゲヤスデ上科 Xestozona に屬するもので，ホソヒゲヤスデ上科に入る日本產既知の3科とは次の檢索表により識別される。

- 1. 顎唇の唇基節は1片より成る……………………………………3, 4
- 2. 唇基節は2片に分れる……………… トゲヤスデ科 Brachychaeteumidae

- 3. 兩生殖肢に鞭狀毛がある……………… ミコシヤスデ科 Diplomaragnidae
- 4. 兩生殖肢に鞭狀毛がない……………………………………5, 6

- 5. 第6胴節の後對肢が副生殖肢に變化する。胴節は21箇…………………………………………………ホラケヤスデ科 Speophilosomatidae
- 6. 副生殖肢は無い。胴節28, 30又は32箇…………ヤリヤスデ科 Conotylidae

---

* 模式標品を始め證據になる標品は松山市に疎開したのであるが昭和20年同市の空襲に滅亡した。殘念なことである。